



進路たより

受験のための面接でもあり、生きるためにも必要な面接

私立高校の推薦入試を迎え、願書記入とともに大切になってくるのが「面接」です。私立高校の推薦入試と県立高校の1期選抜は、面接と小論文・作文が中心となります。各学級においては、生徒一人ひとりに面接の資料である「面接ガイド」を配布し、服装、頭髪、入退室の仕方、質問に対する受け答えなど、基本的なマナーを学んでいるところです。

実際の生活においても、「おはようございます」、「はい」「ありがとうございます」などとしっかりとした口調で話をされると、やはりすがすがしい印象を受けます。

ところで、この時期においては、「面接」＝「受験のため」と考えてしまうと思います。しかし、今後社会の中で生きていくためには「当たり前前（あたりまえ）のことが当たり前前（あたりまえ）にできる」ことを学ぶ、大切な時期なのではないでしょうか。

「あいさつ、返事ができない生徒は社会に通用しない。最も大切なのはあいさつと返事である。」9月に行われた、「職業講話」で講師の先生が言っていた一言です。

受験とは自分の進路を切り拓くことでもあり、社会に認められる人間として価値を高める第一歩でもあります。



「ミソ! あんたいつまで寝てんよ。早く起きなさい! そんなことしているよ、今日も遅刻しちゃうわよ!」

朝っぱらから、お母さんのイライラ、セカセカした声がミソの部屋を目がけて飛んできます。「そんな大声でとるなよ。わかっているよ。ほっといてくれよ。」・・・返答こそしませんがミソは布団の中で、けたたましい母さんの声を耳にしなが、そう思っています。

「朝から晩まで、早く起きろ、早く食べろ、早く行け、早く家に帰ってこい、早く部屋で勉強しろ、早く寝ろ・・・一から十まで人をよくせがす母さんだ。なんてそんなにせいでいるのか。あんなに急いでばかりいると早く年をとっちゃうのになあ」と寝床でミソは思っているがもしませんね。

ところで、あなたの生きがいは何ですか。あなたを生き生きとさせているものって、何ですか。あなたの生きがい、ピカピカ生活を鈍らせているものは何ですか。

何か一つ、今日の目標をもつたらどうでしょう。「今日はこれをやり遂げよう」と決め、朝のスタートをきるのです。どんなさつげなことでいいじゃないですか。受験生なら「今日は単語を20個覚えよう」家庭を支えているお母さんなら「今日はいい天気だから布団を干して、今晚みんながあつたが〜いと寝られるようにしてあげよう」とか。目標を決め、それを達成させるという快感がわいてきます。「よし、明日も」という気も起きます。一日の生きがいを感じる生活の連続が人生の生きがいにつながっていくように思えますね。

郡山市立行健中学校

第26号

発行日

平成23年12月5日



<今後の進路予定>

- 5(月) 県立1期
「志願理由書①」配布
小論文指導
面接練習～16日
- 7(水) 県立1期 願書記入
【5校時 総合の時間】
- 8(木) 県立1期
願書・受験料提出
郡山学院入試 事前指導
- 9(金) 郡山学院 入試
県立1期
「志願理由書①」回収
- 13(火) 私立一般 願書記入
尚志、附属
「志願理由書②」配布
- 14(水) 私立一般 願書記入
【5校時 総合の時間】
- 15(木) 私立一般
願書・受験料提出
クラーク入試 事前指導
- 16(金) 会津若松ザベリオ 事前指導
県立1期
「志願理由書②」回収
- 17(土) クラーク AO入試
- 19(月) 県立1期
「志願理由書③」配布
- 20(火) 会津若松ザベリオ入試
- 21(水) 県立1期
「志願理由書③」回収

※放課後「願書記入」等で、下校時間が遅くなり17:30になることがあります。気をつけて下校させたいと思います。